第2回「研究小集会 卵」(平成23年 東北大学)の主旨

長谷川 峯 夫

独立行政法人 農業生物資源研究所

Summary of "Small Research-Discussion on Hen Egg 2011"

Mineo Hasegawa

National Institute of Agrobiological Sciences

Keywords : hen egg, processing, cleaning, proteomic analysis**キーワード** : 鶏卵, 加工, 洗浄, プロテオーム解析

1. 「研究小集会 卵」

第1回「研究小集会 卵」は、第57回大会(平成22年東京農業大学)にて、鶏卵の健康・栄養機能をテーマに開催された。この部会を立ち上げた趣旨については、既に報告したので参考にしていただきたい¹⁾。第2回「研究小集会 卵」(平成23年9月10日)は第58回大会(平成23年 東北大学)にて開催された。

2. 第2回「研究小集会 卵」

今回は鶏卵の加工、利用面からの最新の研究に焦点を当て、東京海洋大学教授崎山高明先生には「卵白タンパク質のステンレス鋼表面に対する付着挙動」、宮城大学准教授石川伸一先生には「卵製品の品質・機能向上を目的とした鶏卵のプロテオーム解析」を講演いただいた²⁾。

(1) 卵白タンパク質のステンレス鋼表面に対する付着挙動

東京海洋大学 教授 崎山高明先生

鶏卵白タンパク質のオボアルブミン、オボムコイド、リゾチームのステンレス鋼表面に対する付着特性、付着メカニズム、付着防止法について講演いただいた。

(2) 卵製品の品質・機能向上を目的とした鶏卵のプロテ

オーム解析 宮城大学 准教授 石川伸一先生

「プロテオーム解析」について丁寧な解説をいただき、その後、食肉の熟成過程のプロテオーム解析、鶏卵を40℃で貯蔵した時の卵白タンパク質のプロテオーム解析について解説いただいた。さらにプロテオーム解析がもたらす食

品研究への可能性についても講演いただいた。

なお、研究小集会会場には、約60名の方々に参加いただいた。

3. 次回の予定と今後の展望

第3回「研究小集会 卵」は第59回大会(平成24年8月29~31日 藤女子大学)で、鶏卵生産のリスクマネジメント・鶏卵の衛生をテーマに北海道大学教授・人獣共通感染症リサーチセンター長喜田宏先生と酪農学園大学教授田村豊先生の講演を予定している。鶏卵の生産および利用のリスク・衛生問題は鶏卵関係者だけでなく、広く食品研究者、開発者、技術者にとって必要な知識である。また日本の食品企業は、新たな発展に向けて、アジアで事業を展開していることから、グローバルなリスクと捉え、ぜひ

「研究小集会 卵」(平成23年 東北大学)の会場

とも、聴講していただきたい。

第 4 回以降には、次のようなテーマを計画している。

- ・最新の卵加工技術
- ・卵の食品機能の研究（乳化・加熱ゲル等）
- ・卵アレルギー研究の現状と卵アレルギーの低減化技術
- ・卵生産の現状と流通

研究小集会卵部会で、食品研究者、開発者、技術者が卵の幅広い知識を得られるよう、会員から講演テーマの提案を世話人（渡邊乾二，長谷川峯夫）までいただきたい。

なお、研究小集会へは財団法人旗影会（<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/>）の「学術研究集会助成」の協賛をいただき、感謝いたします。

文 献

- 1) 長谷川峯夫, 「研究小集会 卵」の趣旨, 日本食品科学工学会誌, **58**, 339-340 (2011).
- 2) 日本食品科学工学会第 58 回大会講演集, pp. 144-145, 仙台 (2011).

(平成 24 年 2 月 17 日受理)